

会 見 年 月 日	令和5年1月25日（水曜日）		
担 当 課	教育委員会文化財課市史編さん担当	（担当者名：小野）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6848	（内線： ）	FAX：0791-43-6848

『赤穂市史史料集』第9集の発刊について

1. 趣 旨

『市史』や『忠臣蔵』の史料編に収録できなかった貴重な史料を幅広く取り上げ、末永く後世に伝え残していくため、平成26年度より『赤穂市史史料集』シリーズの刊行を行っており、今回第9集を発刊する。

2. 内 容

『赤穂市史史料集』シリーズは、『赤穂市史』や『忠臣蔵』の史料編に紙幅の都合などで収録できなかった史料を幅広く取り上げて活字化し、後世に伝え残していくため、平成26年度より刊行を行っているものである。

今回発刊する第9集は、明治25年（1892）7月に千種川流域の町村を襲った大水害の記録『明治二十五年赤穂郡洪水史』の全文を収録。また、付録として、江戸時代から明治時代に至る赤穂地域の自然災害に関する史料を、諸記録から抄出して年代順に配列収録している。

令和5年2月6日（月）より販売を開始する。

※冊子納品令和5年1月31日（火）、冊子配布2月1日（水）の予定

『赤穂市史史料集』第9集の発刊

赤穂市の修史事業は昭和52年に始まり、昭和56年9月の『赤穂市史』第1巻発刊を皮切りに、平成26年1月の『忠臣蔵』第7巻に至るまで、37年の長きにわたり、『赤穂市史』全7巻、『忠臣蔵』全7巻を編集・発刊して完結した。

『赤穂市史』『忠臣蔵』の編集にあたっては、国内外の多くの史料所蔵者の理解と協力を得て、膨大な史料の情報を集積することができた。しかしながら、これら赤穂の歴史を物語る史料、赤穂事件や忠臣蔵に関する史料の収録は、限りある紙幅の中では、やむなく割愛したり、部分的な収録に留めざるをえなかったものも少なくない。

そこで、『市史』や『忠臣蔵』の史料編に収録できなかった貴重な史料を幅広く取り上げ、末永く後世に伝え残していくため、平成26年度より『赤穂市史史料集』シリーズの刊行を開始した。本シリーズの刊行により、郷土赤穂の歴史や赤穂事件・忠臣蔵の研究の進展に寄与することを企図するものである。

1. 名 称 『赤穂市史史料集』第9集（「明治二十五年赤穂郡洪水史」）
2. 本の体裁 A5判 280ページ
3. 発行部数 1,000部（内販売分 800部）
4. 内 容 『明治二十五年赤穂郡洪水史』は、明治25年（1892）7月に千種川流域の町村を襲った大水害の被害状況、水害後の復旧の経過や経費などを記録したもので、明治27年7月に赤穂郡役所が編集・発行したもの。第9集ではこの全文を収録。また、付録として、江戸時代から明治時代に至る自然災害に関する史料を、諸記録から抄出して年代順に配列・収録。
5. 販売価格 400円（送料別途）
6. 販売場所 赤穂市教育委員会 市史編さん室
赤穂市加里屋中洲3-56 TEL/FAX. 0791-43-6848
7. 販売開始 令和5年2月6日（月）

（参考）

『史料集』既刊：各在庫あり

- | | | | |
|------------------|------------|----|------------|
| ・第1集「赤穂藩森家諸役姓名録」 | A5判 162ページ | 1冊 | 250円（送料別途） |
| ・第2集「赤穂藩森家分限帳集」 | A5判 82ページ | 1冊 | 200円（送料別途） |
| ・第3集「年中用事控（Ⅰ）」 | A5判 228ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第4集「年中用事控（Ⅱ）」 | A5判 300ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第5集「年中用事控（Ⅲ）」 | A5判 318ページ | 1冊 | 400円（送料別途） |
| ・第6集「年中用事控（Ⅳ）」 | A5判 330ページ | 1冊 | 350円（送料別途） |
| ・第7集「年中用事控（Ⅴ）」 | A5判 428ページ | 1冊 | 450円（送料別途） |
| ・第8集「年中用事控（Ⅵ）」 | A5判 342ページ | 1冊 | 400円（送料別途） |

今後収録予定の史料

- | | | |
|-----------|----------------|----------|
| ・真殿村検地帳 | ・誠忠義臣略伝＋忠臣銘々画伝 | ・義士夜討高名咄 |
| ・御廻状御用書留帳 | ・綿屋文書（義士書状集） | ・赤城風雅 |
| ・浅野家分限帳集 | ・尋常高等小学校郷土調査 | など |

『赤穂市史史料集』第9集の主な内容

○巻頭写真

- ・明治25年大水害被災状況写真19点
- ・「南野中村亀ノ甲之図」（平井正年筆）
- ・明治25年洪水記念標（有年原所在）・同拓影
- ・巻末付録4に解説を収録。

○『明治二十五年赤穂郡洪水史』

おもな記載内容は以下のとおり。

- ・第一章 緒論
明治25年以前の洪水の記録。
- ・第二章 各町村ノ実況
赤穂郡内各町村の被害状況の記録。
- ・第三章 行政日誌
被災直後の実況見分、復旧・千種川流路改修の経過の記録。
- ・第四章 水害後之恤救
水害罹災者救恤の義援金募集、各町村への配当の記録。
- ・第五章 水害後ノ土木
河川堤防、道路・橋梁、用悪水路・堰等の復旧工費等の記録。
- ・第六章 水害後ノ衛生
水害後の衛生状況、清潔法施行の記録。
- ・第七章 水害後ノ教育
水害後の就学への補助の記録。
- ・第八章 水害後ノ産業
水害後の塩業・農業の状況の記録。

○付録1 赤穂の自然災害記録抄

- ・江戸時代から明治時代（明治25年の水害を除く）までの、赤穂地域の自然災害に関する記録を抄出・翻刻して収録。配列は年代順とし、一連の通し番号を付与。
- ・収録史料中最も古い記録は、山鹿素行「年譜」の寛文6年（1666）の記事。
- ・洪水の記録が多いが、嘉永7年（安政元年、1854）11月の大地震の記録もある（[一〇二]～[一〇八]）。

○付録2 明治25年赤穂郡洪水図

- ・『赤穂市史』第1巻所収図を再録。

○付録3 明治25年千種川大洪水被害状況

- ・赤穂市域各町村の被害状況（家屋浸水・家屋大破・家屋倒潰・家屋流失・死者）を一覧表とした。

『赤穂市史史料集』シリーズ 第9集を刊行!!

平成26年度より刊行を始めました『赤穂市史史料集』シリーズの第9集を発刊し、下記のとおり販売を開始いたします。

今後も、本シリーズが郷土赤穂の歴史や赤穂事件・忠臣蔵の研究の進展に寄与することを願い、逐次シリーズの充実に努めていきますので、どうぞご期待ください!

第9集は「明治二十五年赤穂郡洪水史」

令和5年 2月 6日（月）発売

『明治二十五年赤穂郡洪水史』は、明治25年(1892)7月に千種川流域の町村を襲った大水害の被害状況、水害後の復旧の経過や経費などを記録したもので、明治27年7月に赤穂郡役所が編集・発行したものです。第9集はこの全文を収録するものです。また、付録として、江戸時代から明治時代に至る自然災害に関する史料を、諸記録から抄出して年代順に配列・収録しています。

- 頒布価格 1冊 400円（送本希望の場合、1冊あたり送料300円）
- 本の体裁 A5判 280ページ 本文用紙は中性紙を使用
- 頒布場所 赤穂市教育委員会 市史編さん室

〈好評既刊〉（各送料別）

第1集「赤穂藩森家諸役姓名録」	A5判	162ページ	1冊	250円
第2集「赤穂藩森家分限帳集」	A5判	82ページ	1冊	200円
第3集「年中用事控(I)」	A5判	228ページ	1冊	350円
第4集「年中用事控(II)」	A5判	300ページ	1冊	350円
第5集「年中用事控(III)」	A5判	318ページ	1冊	400円
第6集「年中用事控(IV)」	A5判	330ページ	1冊	350円
第7集「年中用事控(V)」	A5判	428ページ	1冊	450円
第8集「年中用事控(VI)」	A5判	342ページ	1冊	400円

『忠臣蔵』全7巻（分売不可） A5判上製本 揃 32,100円

『赤穂史百話』（データCD付） A5判 408ページ 1冊 700円

『赤穂市史』全7巻セット完売。分売：第3巻 4,000円、第6巻 4,200円、第7巻 3,200円

赤穂市教育委員会 市史編さん室

〒678-0233 赤穂市加里屋中洲3-56（市民会館西隣、旧市立図書館1階）

TEL/FAX. 0791-43-6848 Eメール shishi@city.ako.lg.jp